

第13期事業計画

2016年10月1日から2017年9月30日まで

特定非営利活動法人ニンジン

I. 事業実施の方針

2016年9月1日から3年間にわたる JICA 草の根技術協力事業「モンゴル障害児療育・教育支援おおび療育関係者の育成事業」が始まった。ニンジンとしてはこのような大がかりな事業は初めてのことであり、専門家のチームメンバーがこの事業を円滑に実施し成果を上げられるように、組織基盤の強化をはかりたい。

既存の療育支援の動きについては、草の根事業が始まったこともあり、障害児をめぐるより社会的な側面での活動を支援することを指向したい。専門家訪問については、障害者の社会的な自立へ向けての指導者を派遣したい。ただし、3回目となる招へい研修については、集団保育の場面での指導ができる人材（理学療法士、保育士）を育成することを目指して、保護者の会で立ち上がっている自主保育グループへの支援となるよう計画し、来期(10月以降)に実施する。

今年度は、2017年4月～5月に車いす専門家が訪問し、前年採寸したお子さんへの車いす、バギーの調整、配布および車いすセミナーを実施し、今後の車いす支援のあり方を検討する。

タイについては、北タイの NGO ルデラ（ラフ農村開発）と協力し、北タイへのスタディツアー、高校生のスタディツアーコーディネートを継続実施する。

10年以上、細々と事務局を継続してきているが、事業拡大に伴い事務局機能が追い付かなくなってきたおり、今期より事務局の充実を予算をつけて行っていきたい。

II. 事業計画

1. 海外との協力事業

(1) モンゴル障がい児療育支援

ア. JICA 草の根技術協力事業

・プロジェクトメンバー

プロジェクトマネージャー	梅村 浄
業務従事者（療育担当）	諸石 真理子
業務従事者（教育担当）	野口 陽子
業務従事者（療育・教育担当）	吉濱 信恒
業務従事者（療育担当）	堤 由貴子
業務従事者（経理担当）	鈴木 茂

1) ウランバートルに渡航しての活動

実施時期① 2017年 3月4人（梅村、諸石、野口、堤）、

② 2017年6月2人(諸石、*野口)

③ 2017年9月2人(諸石、野口)が

活動内容：・ゲゲーレン、サインサイズで療育・教育指導

・障害児親の会の親に対する教育・保健セミナーの実施(親の会)

・療育関係者に対する療育セミナーの実施

(第10幼稚園・治療保育園)

・家庭病院の医師と看護師に対して家庭医セミナーの実施

(国立リハビリテーションセンター)

・保健省、労働社会保障省、教育省、第10幼稚園・治療保育園、

国立リハビリテーションセンターと、障害児療育・教育について

話し合い、これから始まるニンジンのセミナーに公務として参

加できるための交渉

2) 国内での活動

・ 渡航しない月は月に1回、モンゴルと Skype 会議

・ 教材開発

・ セミナー準備

・ JICA のマネージメント研修に参加

・ JICA の危機管理研修に参加

・ 資料の管理

3) モンゴル人現地補助員の活動

・ 週1回グループを訪問して、絵本の読みきかせ、

療育・教育活動を調整、日本との連絡

・ Facebook の管理

・ 翻訳、通訳

イ. 車いす支援

心身障害児総合医療療育センター、株式会社ゼット本社他の協力をいただき、モンゴルで専門技術者が採寸した希望者を対象に、国内でサイズの合う車いすを収集し、モンゴルへ送り、現地でフィッティングして渡す。というこれまでの流れを、中古の障害児用バギー、車いすが出ない現実から、一般的な車いすを送り、現地でクッション、ベルト等の付属品を製作できるよう技術支援を行う。車いすのモンゴルへの輸送方法が課題である。

車いす支援専門家訪問

実施時期：(予定) 2017年4月28日(金)～5月5日(金) 8日間

訪問団メンバー：今清水勝人(車いす技術者)、事務局

予定地域：ウランバートル市内、障がい児保護者の会、

内 容：車いすの調整配布、車いすセミナー、保護者の会との協議、

ウ. 専門家訪問

現地からの要請を受け、専門家を講師派遣して、現地状況を視察するとともに、障害者の社会的自立、当たり前前に地域のなかで生活することを旨とするためにどうすればいいか、啓発する。

実施時期：(予定) 2017年6月もしくは9月に8日間

訪問団メンバー：谷口奈保子(認定NPO法人ぱれっと理事)、事務局

予定地域：ウランバートル市内

内 容：知的障害者の生活状況の視察、障害者団体等との面談、障害者保護者の会等を対象とした講演会、

エ. 招へいプログラム

第2回招へい研修(前年度からの継続)

実施期間：2016年9月25日(日)～10月3日の10月部分

内 容：練馬区春日町幼児教室てんとう虫見学、
公開フォーラム、交流パーティー

エ. 事業報告会の開催

モンゴル支援事業への理解者、支援者を増やすことを目的として、報告会を開き、活動の紹介・報告をする。あわせてモンゴル音楽を楽しんでいただく。

実施日時：2017年6月10日(土) 19:00～21:00

会 場：ルーテル市ヶ谷センター(東京・新宿区)

オ. 支援事業の運営

上記の支援事業を運営するために、年間を通して事務局、現地協力者と連絡を取り、円滑な運営を行う。

2. 海外の障がい児者等との交流事業

(1) モンゴル交流事業

『第11回モンゴル交流ツアー……車いすを届ける旅……』の実施

モンゴルの障がい児に車いすを届けて交流し、併せてモンゴルの大自然に触れるツアーを実施する。

実施時期：(予定) 2017年8月4日(金)～8月11日(金) 7泊8日

募集人数：10人～15人

訪 問 先：ウランバートル、障がい児保護者の会、他

(2) タイ交流事業

ア. 『北タイ・焼畑の村スタディツアー』の実施

北タイをベースにラフ族の人びとを主として支援してきたNGO ルデラの森の復活と農民の自立を組み合わせた取り組みに学び、生活文化にふれるスタディツ

ア-を実施する。村では養豚講座、古着のバザーを開催

実施時期：2017年3月10日(金)～17日(金) (予定) 6泊7日

募集人数：15人程度

訪問先：チェンライ県メーソアイ郡ホイナムクン地区ローチョ村

イ. タイへ高校生のスタディツアーのコーディネート

東京の私立・順天高校が行うタイ修学旅行の北タイ滞在期間について協力し、さまざまなハンディを抱える人々、また同世代の青少年と出会い交流するスタディツアーの企画・コーディネートを行う。

実施時期：2017年7月下旬～10日間程度

受入人数：順天高校より、生徒及び引率教員20人程度

内 容：＜チェンライ＞山岳少数民族ラフ族の村の生活体験、研修農場での体験、子ども寮での交流、＜パヤオ＞学校訪問、ホームステイ
＜チェンマイ＞HIV/AIDS関連の活動、ストリートチルドレン関連施設などの訪問、視察交流、象乗り

協 力 者：ダイエー・セイリ氏（チェンライ）、川口泰広氏（チェンマイ）

3. 啓発事業

(1) アジア諸国の障がい児・者及び少数民族支援等に関する啓発セミナー等の開催

モンゴルから招へい研修で来日中の障がい児保護者の会のメンバーを迎えて、公開セミナーを開き、あわせて交流する。(実施済み)

実施時期：2016年10月1日(土)

内 容：モンゴルの障がい児の療育の実現に向けて

4. 文化交流事業

(1) モンゴル文化紹介

モンゴル支援事業報告会をもってあてる。

5. 情報提供事業

(1) インターネットによる情報提供

ホームページおよびブログ他による情報発信に努める。

(2) ニュースレター、Eメールニュース（「ニンジン・アップデート」）の発行

6. 組織運営

(1) 会議の開催

ア. 通常総会の開催 (年1回)

日 時：2016年12月18日(土)

会 場：中央区女性センターブーケ21研修室

イ. 理事会の開催 (年2回)

ウ. 運営委員会の開催

理事および会員有志からなる運営委員により、事業実施の詳細を決め、実施する。

(2) 財源の確保

組織の安定した財政基盤を築くため、会員の拡大、寄付等財源確保に努める。

(3) 事務局運営の改善

一定の人件費を確保して事務局の強化を図る。事務局業務の分担を進め、事務局長及び経理事務担当に支払う。

(4) ニンジン・サポーターズ倶楽部

会員資格の有無を問わず、ニンジンの活動をサポートするボランティアを募り、コンサートやイベント出展のスタッフなど、活動への参加を呼びかけ輪を広げる。

第13期 活動予算書
2016年10月1日～2017年9月30日まで

特定非営利活動法人 ニンジン
(単位:円)

科 目	金 額		備考
I 経常収益			
1 受取会費			
個人正会員受取会費	400,000		40人
個人賛助会員受取会費	150,000		50口
団体賛助会員受取会費	120,000	670,000	4団体
2 受取寄附金			
モンゴル支援事業受取寄附金	400,000		
一般寄附金	500,000	900,000	
3 受取助成金等			
民間助成金	1,000,000	1,000,000	
4 事業収益			
JICA草の根技術協力事業委託費	3,131,963		
事業収益	6,040,568	9,172,531	
5 その他収益			
受取利息	2,000	2,000	
経常収益計			11,744,531
II 経常費用			
1 事業費			
(1)人件費			
給料手当	773,000		事務局担当者を含む
人件費計	773,000		
(2)その他経費			
諸謝金	1,559,290		
印刷製本費	169,660		
会議費	107,500		
渡航費	2,929,700		
旅費交通費	623,020		
滞在費	3,192,703		
輸送費	112,000		
通信運搬費	30,000		
消耗品費	332,645		
材料費	70,000		
賃借料	248,000		
支払手数料	2,000		
雑費	119,593		
その他経費計	9,496,111		
事業費計		10,269,111	
2 管理費			
(1)人件費			
給料手当	600,000		経理事務担当者等を含む
人件費計	600,000		
(2)その他経費			
印刷製本費	32,000		
会議費	5,000		
旅費交通費	180,000		
通信運搬費	120,000		
消耗品費	30,000		
地代家賃	240,000		水道光熱費を含む
管理諸費	120,000		
諸会費	10,000		
租税公課	78,000		法人住民税を含む
支払手数料	15,000		
その他経費計	830,000		
管理費計		1,430,000	
経常費用計			11,699,111
当期正味財産増減額			45,420
前期繰越正味財産額			1,774,065
次期繰越正味財産額			1,819,485